

さが未来スイッチ交付金事業 実施計画書

市町名	〇〇〇〇〇〇市	地区名	〇〇〇〇〇〇地区
所属	さが創生推進課	広域的事業実施区域	旧〇〇町
担当者職・氏名	〇〇・〇〇〇〇		
電話番号	****-**-****		
事業区分	区分A	地域の特定時期による類型	事前特定型
直轄・助成の別	助成方式	新規・継続の別	継続(H27チャレンジ・H28スイッチ)
事業名	〇〇市〇〇地区の歴史を巡る散策ツアー	事業実施主体	〇〇区自治会

1. 実質的過疎地域への該当性

(1) 人口減少等の状況

地域名	申請地区			市町全体			
	H22.10	H27.10	増減率	H22.10	H27.10	増減率	
〇〇〇〇 〇〇地区	人口減少の状況	965	904	-6.3%	40,000	38,750	-3.1%
	うち65歳以上人口	300	298	-0.7%	10,955	10,980	0.2%
	(65歳以上の比率)	31.1%	33.0%	1.9%	27.4%	28.3%	0.9%
	その他						

(2) 実質的過疎地域として選定した根拠

本地区は、〇〇山の南麓に位置する狭小な盆地であり、〇〇などの農業及び林業が産業の中心で、近年では〇〇の衰退等により若年層の流出が顕著である。これらのことにより、(1)のとおり、人口減少率及び65歳以上人口比率がともに市の平均を大幅に上回っている。

2. 事業実施主体の説明

区自治会は〇〇年設立、5の班で構成され、250世帯を有している。毎月定例の〇〇のほか、〇〇、〇〇などを行い、〇〇に努めている。

3. 事業概要

地域の概要と課題	<p>本地区は、〇〇市の〇〇に位置し、〇〇、〇〇などのほか、古くから〇〇であった歴史的経緯から古い蔵や〇〇などの歴史的資産に恵まれている・・・</p> <p>近年では、人口の減少、高齢化に伴い、地域を支えていた子どもクラブや婦人会、老人会などの組織が減少して・・・</p>	
事業内容	項目	内容
	①マップ作成	有識者の助言を求めながら地区の歴史的建築物や遺構に加え、商店・飲食店などを巡るコースを構築、マップを作成。
	②コース案内看板の整備	散策マップの見どころに関する情報や、順路を間違えやすい箇所案内看板を作成し設置する。
	③ウォーキングイベント開催	作成したコースを、ボランティアガイドの先導に従い参加者に歩いていただく。現地の雑貨店や饅頭店で休憩いただき、飲食や土産品の購入を促す。2回開催予定。
着目点・期待する効果	<p>〇〇という歴史的資産と、開放的で面倒見のよい住民性を活かして、</p> <p>①地区外の人を呼び込み、にぎわいを作り出し、お金を落としてもら</p> <p>②地域住民に誇りと連帯感を取り戻す。</p>	<p>交付要綱に記載している下記の基準を基に審査を行いますので、ご留意の上、記載をお願いします。</p> <p>①自立性(継続性)</p> <p>②将来性(自主性)</p> <p>③地域性</p> <p>④直接性</p> <p>⑤結果重視(効果・成果)</p> <p>※詳細は交付要綱をご覧ください。</p>

